



「原発に依存しない 新しいエネルギー社会」の 実現に向けて

県では、平成27年（2015年）3月に策定した『滋賀県基本構想』のもと、現世代はもとより、将来世代も持続的に実感できる「新しい豊かさ」の創造に向けて取り組んでいるところです。中でも、県民生活や産業振興、環境、防災、教育など、あらゆる分野につながっていく大きなテーマが「エネルギー」であると考えています。

今後、原発に依存しない新しいエネルギー社会をできる限り早く実現していくことが求められていることから、長期的、総合的かつ計画的なエネルギー政策を推進していくための指針として、このたび、『しがエネルギービジョン』を策定しました。

ビジョンの策定にあたりましては、「滋賀県新しいエネルギー社会づくりを考える懇話会」の委員の皆様をはじめ、多くの県民や事業者の皆様から貴重な御意見、御提言をいただきました。関係各位の方々に対しまして、心からお礼申し上げます。

このビジョンでは、「原発に依存しない新しいエネルギー社会の実現に向けて～地域主導によるエネルギーシフトに向けたローカル・イノベーション～」を基本理念として掲げ、原発に依存せず、「社会」「環境」「経済」の各側面からの要求をも同時に満たす、持続可能な新しいエネルギー社会を創造していくこととしています。

エネルギーを「減らす」、「創る」、「賢く使う」、これら3つの取組を「支える」取組を皆様と共に進め、この滋賀から、「新しい豊かさ」をエネルギーの分野から実現するため、一緒にがんばりましょう！

平成28年（2016年）3月

滋賀県知事

大の百歩は
巨人の一步、
三日月大造